

2024年(令和6年)

第875号

12月

編集及び発行人：東京土建一般労働組合 杉並支部
杉並区高円寺南3-6-2
TEL(3313)1445
FAX(3313)7096
メール doken-suginami@mx10.ttcn.ne.jp
定価1部50円(購読料は組合費に含む)

●建設業に働くみなさんの仕事とくらしを応援します

すぎなみ

支部会館休館のお知らせ

下記日程は休館となります。ご了承ください。

12月27日(金) 終日 会館大掃除
12月30日(月)~1月3日(金) 年末年始休館日
1月6日(月) 12時~休館
午後から四役書記局合同会議

土・日・祝日も休館



土田 麻紀子
市街地整備課長

杉並区より(抜粋)

岸本聡子杉並区長の代理でごあいさつ申し上げます。

東京土建のみなさまには日頃より、良好な住環境のためにご協力をいただき感謝しています。杉並区では断熱をすすめて省エネを促進するなどの取り組みをすすめており、また区民参加型予算事業として防災・減災アンケートを実施しています。こちらについてもご協力をお願いします。



青年部が今年も建前を担当



住宅相談

「地元の仕事は地元で働く東京土建へ」を合言葉に地域からの仕事掘り起こしをすすめてきました。インターネットを通じて安く工事を見積もり、高額請求する業者が多くありますが、やはり対面で丁寧に説明することでお客さんは安心します。「杉並支部まちづくりセンター」は杉並区との業務委託で区役所1階ロビーで「無料住宅相談」もおこなっています。まつり当日は4件の相談がありました。



お菓子まきに大歓声



第4回 手のこ王決定戦

今年で4回目となる「手のこ王決定戦」。毎回アツいドラマが生まれてきましたが、小橋隆宏さん(泉南・型枠大工)が熱戦を制して初優勝しました。おめでとうございます。

前日の雨など噂のような晴天のもと、11月3日に第22回東京土建まつりが開催され、大成功を収めました(来場者1万人)。杉並支部は今後も地域の建設組合をアピールし、地域との共同をすすめます。



重機体験

蚕糸の森公園大滝前ブースでは「高所作業車体験」、消防署による「初期消火体験」「煙体験」、清掃事務所による「ゴミ積み込み体験」のほか、重機体験や起震車体験もあり、大賑わいでした。



スタンプラリー

「初めて来ましたが子どもと楽しめる企画がいっぱい」「昨年来て楽しんでた娘の姿をみて今年も来ました」。スタンプラリーアンケート回答者の声です。中には「建前をみて、家を建てることに興味をもった」という回答もありました。



丸太切り体験(西荻分会)

午前10時、組合員向けに縫村実行委員長、来場者向けに鎗田執行委員長のあいさつで始まった「第22回東京土建まつり」。来賓からは、岸本杉並区長の代理で土田麻紀子市街地整備課長、社会福祉協議会からは足田恵子さんがおみえになり、それぞれあいさつがありました。

また、東京土建本部と西部ブロック各支部、また各議員より連帯のあいさつがありました。また、東京土建本部と西部ブロック各支部、また各議員より連帯のあいさつがありました。

さつがありました。10時30分からはステージプログラムがスタート。プラスバンドや阿波踊りなど、地域の団体が日頃の練習の成果を披露しました。各分會では「かなな削り」や「丸太切り」「タイル工作」など建築体験を中心とした出店が多くありました。

支部企画の「ジャンボ工作教室」では「スマホスタンド」を用意、スタンプラリーやふわふわトランプリンには、長蛇の列ができました。住宅相談では「外壁リフォーム」や「床の張り替え」などの相談がありました。

蚕糸の森公園大滝前は、高所作業車・重機・消防車・ごみばっくん(清掃事務所)・起震車

いよいよステージ上ではファイナーとなる建前が始まりました。今回も青年部が組み立てを担当。吉田副委員長が建前の由来を来場者に説明し、上棟を祝してお菓子まきをおこない、まつりは終了しました。

ご来賓のみなさん(敬称略)

- 杉並区都市整備部 土田 麻紀子 市街地整備課長
- 杉並区社会福祉協議会 正田 恵子 衆議院議員
- 立憲民主党 吉田 晴美
- 東京都議会議員(到着順) (日本共産党) 原田 あさち
- (立憲民主党) 関口 健太郎
- (自由民主党) 早坂 義弘
- 小宮 あんり
- 杉並区議会議員 (立憲民主党) ひわき 岳
- 赤坂 たまよ
- 松本 浩一
- 安田 マリ
- (日本共産党) 富田 たく
- 小池 めぐみ
- 和氣 みき
- 東京土建本部 中村 隆幸 執行委員長
- 佐藤 豊 副執行委員長
- 西岡 貴之 専従幹事執行委員長
- 東京土建西部ブロック (渋谷支部) 加藤 和春 副執行委員長
- (世田谷支部) 秋元 正真 執行委員長
- (新宿支部) 伊藤 賢司 執行委員長
- (中野支部) 深石 武史 執行委員長
- 劇団前進座 女優 山本 春美(司会)



支部のホームページはこちら

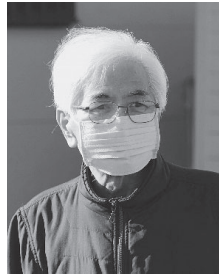
https://www.doken-suginami.org/shibu/index.html

東京土建杉並支部 検索

労災事故は忘れた頃にやってくる (伊藤 和則・常任執行委員)

▼今年も残り半月あまりとなった。11月には杉並支部の組合員が高所作業車に乗って作業中、転落して宙つりになり亡くなる痛ましい事故が起きた。現場の状況からブームが突然縮んだために投げ出されたと報道されている。ご遺族を支え、組合としても真相究明、再発防止に尽力したい。▼厚労省が10月21日にまとめた2024年1月~9月の労働災害発生状況によると、建設業の死亡者数は前年同月比で12人増(7.9%)の164人、事故別でいうと「墜落・転落」が57人と最多、建設業死亡者数の34.8%を占めている。▼杉並支部では12月20日19時から支部会館において、安全衛生大会を開催する。事例報告・講演・経験交流と内容は盛りだくさんとなっている。労災事故は忘れた頃にやってくる。ぜひ多くの方に、なさんに参加いただき、安全意識の向上を図っていきたいと思う。





松本センター長

大病から復帰 体が許す限り ボランティア センター続ける

毎年遠くから(復興支援ボランティア)に来ていただき、ありがとうございます。ご存じかどうか、実は大病して死ぬかどうかの手術を3回おこない成功、復帰しました。体調も戻ってきています。センターも迷惑がかからないように規模を縮小、道具も最小限にしました。いつまでやるのか?とよく聞かれますが、みなさんと同じで「途中でやめるのはどうか」と思い、体の許す限り(ボランティアセンターの運営を)続けたいと思います。ご心配をお掛けしました。今後ともよろしくお祈りします。

ボランティアセンター長 松本さんのコメント



福島県南相馬市 復興支援活動の報告

作業後に出現した立派な石庭を記念写真



廃炉作業の今を伝える

被災者からの要望がある限り

11月23日から24日にかけて福島県南相馬市において復興支援活動をおこないました(全体24人・杉並18人)。初日は施設見学・2日目はボランティアセンターを通じての民家の草刈りをおこないました。その模様を報告します(文責・双木)。

東京電力 廃炉資料館

原子力事故の記憶と記録を残し、二度とこのような事故を起こさないための反省と教訓を社内外に伝承することを目的に設置されたこの資料館。長期に渡る膨大な廃炉事業の全容が見える化されており、1階中央に置かれた「F・CUBE」では

昨年に引き続き、新宿支部と小平東村山支部との共催でおこないました。各支部それぞれ乗合いで富岡町に集合、昼食後「東京電力廃炉資料館」に向かいました。



核兵器をなくさない限り
原発はなくなるらない

続いて、震災当時から復興し、全く別の建物となった富岡駅を視察し、以前訪問したこ

ヒロシマ・ ナガサキ・ ビキニ・ フクシマ伝言館

福島第一原子力発電所の構内の状況が巨大スクリーンで紹介されていきました。福島第一原発の廃炉措置、第二原発の廃炉完了までは40年超の年月がかかる見通しで、復興はまだ終わっていません。

事業所交流会 アジ釣り大会



竿頭の
三條浩二さん
(左・井萩・冷暖房)

晴天の中 竿頭は38匹

昨年は悪天候のため中止となった、事業所対策主催「アジ釣り大会」。11月23日に神奈川県横浜市金沢八景の釣り船「荒川屋」にて初めて開催しました(参加10社14人)。

急に寒くなってきたこともあり、釣果が心配されましたが当日は天気も良く、竿頭(一番多く釣り上げた人)はアジ38匹を釣り上げました。釣りの後は併設されているダイニングバーで釣りたてのアジを使った刺身やアジフライなどを囲み、和やかに交流することができました。

次年度も開催予定です。釣り好きの方はぜひご参加ください。

最後に向かった「いわき伝言館」は、東日本大震災での津波被災地に立地

いわき伝言館 震災みらい館

「リフレ」で宿泊後、翌日9時に南相馬市ボランティアセンターに着。大病の未復帰した松本センター長が出席して、来年以降も復興支援活動は、継続の見通しです。

復興支援 草刈り

いわき市のサウナ「リフレ」で宿泊後、翌日9時に南相馬市ボランティアセンターに着。大病の未復帰した松本センター長が出席して、来年以降も復興支援活動は、継続の見通しです。



作業前



作業後

最後に向かった「いわき伝言館」は、東日本大震災での津波被災地に立地

いわき市のサウナ 「リフレ」で宿泊後、翌日9時に南相馬市ボランティアセンターに着。大病の未復帰した松本センター長が出席して、来年以降も復興支援活動は、継続の見通しです。

最後に向かった「いわき伝言館」は、東日本大震災での津波被災地に立地

問1 「台風」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ①台風の「強さ」の階級で「猛烈な」台風と表現されるのは、最大風速が44m/s以上となることが条件。
- ②台風の「大きさ」は、風速17.2m/s以上の強風域の半径により定義される。
- ③台風の中心風速が17.2m/sを超えた時に「熱帯低気圧」から「台風」へと名称が変わる。

問2 「ゲリラ豪雨」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ①「ゲリラ豪雨」は、大都市のエルニーニョ現象化によって起こるといわれている、局地的で突発的な予測の難しい豪雨のことである。
- ②夏場、大都市では周りの地域よりも気温が高くなり、強い上昇気流が生まれ積乱雲を発達させやすくなると言われている。「ゲリラ豪雨」とは局地的で突発的な予測の難しい豪雨のことである。
- ③「ゲリラ豪雨」という言葉は、新聞報道で使用されたことを契機に一般に広まり、天気予報で使用する予報用語として加えられることとなった。

問3 「台風情報」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ①「台風進路予想図」で示される「暴風警戒域」とは、実際の図では赤い実線で示される「最大瞬間風速25m/sの風」が予想される範囲を表す。
- ②「台風進路予想図」では、台風の発生地点は×印で示され、今後進むと思われる範囲を白い実線と点線で囲んで示す。
- ③台風の目が当該地域を通過すると、一時的に風雨がやんだり青空がのぞいたりする場合があるが、これをもって台風が去ったと誤った判断をすることやむを得ない被害を生じることがある。



防災士が語る 災害と防災

青木隆之 防災士

防災士模擬試験で 防災について学ぼう

今回は趣向を変えて、実際の防災士試験で使用されている模擬試験をもとに、災害について学んでいきたいと思えます。設問は3問です。解答は本号4面に掲載しています(解説次頁)。または支部担当・双木まで



募集

■ **ハウスクリーニング** ■
おそうじ本舗 杉並阿佐谷南店
代表 藤原 要
中野区新井5-10-4
Tel.070-3121-9394

■ **現場管理** ■
(株)弥彦工務店
代表 児玉 達朗
杉並区和田3-50-3
パークサイドテラスコタマ
Tel.090-2658-4844

■ **外構造園作業スタッフ** ■
グリーンスペース計画(株)
代表 益田 陽介
杉並区下井草3-20-11-105
メゾンヴェルトⅢ
Tel.080-1074-4655

■ **電気工事士** ■
【社員】
(有)ケンエナジー
代表 縫村 信秋
杉並区浜田山1-23-7
Tel.03-3290-0122

■ **配管工** ■
【社員】
斎喜工業(株)
代表 齋藤 隆男
杉並区大宮1-2-201
Tel.03-3328-9638

■ **防水** ■
【社員】
(株)電防
代表 南 忠文
西東京市東町5-7-20
Tel.090-8030-8822

■ **造園工** ■
【社員】
(株)ネクストグリーン
代表 堀内 幸雄
杉並区堀ノ内2-7-7-101
Tel.03-6677-7168

■ **測量士・測量士補** ■
【社員・アルバイト】
リーベン開発設計(株)
代表 古地 孝博
杉並区阿佐谷南3-31-14
Tel.03-3392-4735

■ **塗装・防水・電気・営業** ■
【社員】
(株)しんせん
代表 小笠原 健悦
杉並区堀ノ内3-49-7横尾ビル1F
Tel.03-3311-2196

■ **塩ビシート専門** ■
【社員】
(株)UPstart
代表 相澤 秀明
杉並区永福1-39-9-106
Tel.03-6677-3747



神田川・環状七号線 地下調節池見学会

11月26日に神田川調節池見学会を開催(参加者46人)。ミスター防災こと早坂都議の声掛けで、善福寺川取水施設から環状七号線の地下トンネルを視察しました。

地下調節池は、全長4・5km、内径12・5mの大きさを有し、洪水約54万m³を貯留する施設です。事前にスライドや模型でどの様に取水するのかを学習。取水口はゲート式になっており、善福寺川が増水したとしてもすぐにゲートを開けるのではなく、一定の水位に達した際に職員がスイッチを押して取水すること、今後は練馬区の白子川・石神井川の取水施設と合流する予定があるなどの説明がありました。

洪水や水害に対する意識が高まる取り組みとなりました。

年末年始の支部日程

- 支部会館大掃除日
12月27日(金) 終日
※事務の取り扱いができません
- 年末年始休館日
12月28日(土)～
2025年1月5日(日)
- 四役書記局合同会議
1月6日(月) 13時30分
※午後は休館します
- 杉並支部「新春旗びらき」
1月24日(金) 19時～
支部会館3階



物価高騰から仕事と暮らしを守れ!

11月21日に全国47県連から1,918人の仲間が日比谷野外音楽堂に集結し、「予算要求中央総決起大会」が開催された(杉並28人)。各政党からは「建設国保の堅持をはじめ後継者や技術者の育成など、さまざまな問題に国会の内外で届け、前進させるべく努力したい」(立憲民主党・枝野幸男衆院議員)、「担い手3法改正法の全面施行に向け、引き続き丁寧に取り組んでいく。建設業界の労働環境の改善に向け全力で挑戦する」(公明党・安江伸夫・参院議員)、「建設従事者の賃金単価の改善、建設国保現行水準確保、アスベスト基金の

予算要求中央総決起大会

11月21日に全国47県連から1,918人の仲間が日比谷野外音楽堂に集結し、「予算要求中央総決起大会」が開催された(杉並28人)。各政党からは「建設国保の堅持をはじめ後継者や技術者の育成など、さまざまな問題に国会の内外で届け、前進させるべく努力したい」(立憲民主党・枝野幸男衆院議員)、「担い手3法改正法の全面施行に向け、引き続き丁寧に取り組んでいく。建設業界の労働環境の改善に向け全力で挑戦する」(公明党・安江伸夫・参院議員)、「建設従事者の賃金単価の改善、建設国保現行水準確保、アスベスト基金の

は2,613・3億円、前年比31・6億円減となっているが、これは被保険者の減少によるもので、現行補助水準は確保している。全建総連には、記長より基調報告があり「昨年11月から今年4月まで取り組んできた『持続可能な建設業実現に向けた100万人国会請願署名』の請願採択により、担い手3法が改正され、重層下請け構造の適正化に向け実態調査をおこなうなど、着実に施策に反映され始めている。2025年度概算要求の国保組合関係予算

保護具着用管理責任者 選任が義務化

2024年4月から安全衛生規則が一部改正され、事業者が労働者に保護具を使用させるときは「保護具着用管理責任者」を選任し、有効な保護具の選択・保守管理などの業務担当が定められました。開催の要望が多数あり、下記の日程で講習会を開催します。

申込は支部・村松まで。

日時 2025年2月28日(金) 9時～
会場 技術研修センター
定員 30人(申込締切:2月12日)
受講料 15,000円

※保護具とは…ヘルメット(保護帽)・保護衣・保護手袋・安全靴・防塵マスク等

保健対策推進委員学習会

私たちの「命の綱」土建国保を守ろう

11月29日に支部会館3階にて、本日より杉並支部出身の末浪明子書記を講師として招き、「保健対策推進委員学習会」を開催しました(参加者24人)。私たち建設従事者は、いまだ日給月給で働く人が多く、病弱にかかれば収入が途絶えてしまい、生活困窮につながります。早期発見・早期治療をめざし、まずは健康診査を受けましょう。

● **特定健診**
血液検査など、充実の検査項目。大腸がん検査も追加。アスベスト疾患には胸部レントゲンフィルム再読影で早期発見。40歳から5歳ごとの「節目健診」(人間ドック)には、25,000円の補助。

● **特定保健指導**
健診の結果、生活習慣病になる可能性が高い方に対して、保健師や管理栄養士などの専門家が、生活習慣を見直すためのサポートをおこないます。

● **健康保険証の新規交付廃止**
12月2日より、現行の健康保険証の新規交付が廃止されました。

①現在の土建国保の有効期限は2025年3月31日まで

②マイナ保険証を持たない人には「資格確認書」が発行され従来の通り受診可

③マイナ保険証の人には「資格情報のお知らせ」を交付

現行の健康保険証で困っていることは「つもありません。保険証存続に向け、引き続き声を上げていきたいと思います。」



末浪明子書記



第372回

私は沖縄県ケラマ諸島の座間味島で生まれました。名前の由来は聞いたことありませんでしたが、父親が慶三郎だったため、一字もなかったのだと思います。5人兄弟の三男です。

子どもの頃から海釣りに夢中になり、今も趣味です。潮が満ちているか引いているかで釣れる魚が違うのですが、GT(ロウニンアジ)や県魚となっているグルクン(タカサゴ)をよく釣りました。魚は総じて小ぶりな方がおいしいです。

苦勞したことはみんな忘れた とにかく前を向いて進む

まっの よしお
松野 慶男さん 井萩・電気

しかないと思い、女房と2人だけの力で有限会社ケラマ電設を設立しました(現在は株式会社)。当時は本当に苦勞しましたが、みんな忘れませんでした(笑)。
独立してからは、関電工の電気仕上げ工事業者として仕事を始めました。主にオフィスビルが現場です。2023年6月に竣工した日本一高い麻布台ビルの現場にも従事しました。

ゼネコンに対しては、工期の延期と単価を引き上げて欲しいですし、忙しい時はみんな忙しく、暇な時はみんな暇という状況があるので、ゼネコン主導で工事の均衡化をしてほしいです。

リーダードーム(通称アイスクリム)に関わる仕事をしたかったと思い、電気工事士を志して高校を卒業後上京、知り合いなどのツテはなかったです。マンシヨンの電気工事をおこなう会社に就職。寮に住んでから、中野区野方に引っ越ししました。電気のことは何も分からず、オームの法則から覚えたので、当初はよくいじめられました(笑)。

2つの電気工事会社で7年ほど修行した後には個人事業主として独立、人を集めるには会社をつくる



松野 慶男さん

ここでやってこれたのは、すべて女房のおかげです。これからも仕事を続けていくには、社員同士仲良く、時代の変化についていきながら、とにかく前を向いて進むことだと思っています。

取材 双木淳志

中央分会が地域診療所とタイアップ

せいぎょう診療所「健康フェア」に12人参加

包丁研ぎは100本超の大盛況



東京土建国保の健診無料提携診療所としてお世話になっているせいぎょう診療所で11月10日に「健康フェア」が開催され、中央分会が「包丁研ぎ」と「まな板削り」で出店しました(12人参加)。
診療所内では「ころぼん体操」や「健康寿命講話」「健康チェック」「法律健康相談」などがおこなわれ、包丁研ぎは120本と大盛況でした。
組合は今後も地域協力団体と共同の取り組みをすすめます。



杉並区の制度を活用しよう



石綿検体 調査費補助

杉並区では、解体工事における「アスベスト事前調査」について、建築物所有者の負担軽減と調査実施促進のため、アスベスト分析調査費用の一部を補助します(上限5万円)。
私たちの運動で実現した制度ですが、まだまだ周知されていません。詳しくはQRコードを参照ください。

ミドリ安全防寒服あっせん

防寒服を特別価格で

東京土建ではミドリ安全と提携して防寒服(電熱ユニット搭載防寒ベスト)を特別価格であっせんします。詳しくは右記QRコードを参照ください。また以前にクールファンまたは防寒ベストを購入し、バッテリーをお持ちの方は、バッテリーの型式をご確認ください。



お客様ID
cc009737
パスワード
cc009737